

行財政改革推進委員会 事前質問・意見等一覧

No	資料	頁	委員名	項目	意見・質問等	回答	担当部局
<p>【第1 本県の行財政改革の歩みと課題】 一般行政部門の職員構成 関係</p>							
1	資料 2	1	鎌田 委員		<p>【質問】 10年後の職員構成ですが、40代の割合が極端に少なくなるようです。単純に見ると、現在30代以下の職員は32パーセント。その半数が10年後には40代になると思うのですが、17%にまで減少する要因といったものを説明していただければと思います。また、教育、警察部門についても10年後の職員構成の推計は出ていますか。</p>	書面 回答 P1	総務部 (人事課、行政 経営管理課) 教育庁 警察本部
2		2~ 4			<p>【意見】 個人的な差はありますが、40代は最も仕事に集中できる時期ではないかと思えます。子育てはある程度落ち着き、親世代の介護もまだ少し先かと思えます。仕事の基礎、土台となるものも取得し、新しい課題や技術などへも意欲的、柔軟に対応できると思えます。 また、若い世代への指導、教育という面や、若い世代と50代以上の間に立ち意思疎通など仲立ちの役割といったことについても期待されるのではないのでしょうか。行財政改革の取組方策として業務プロセスの改革や、青森県庁版BPRの実施が重点テーマとなっていますが、業務を円滑に進めていく上では職員構成のバランスもまた大事かと思えます。</p>	— (意見)	総務部 (人事課、行政 経営管理課) 教育庁 警察本部
<p>【第2 新たな行財政改革大綱の基本的な考え方】 2 地域の多様な主体との連携・協働を進める青森県 関係</p>							
3	資料 2	3	益城 委員		<p>【意見】 ①役割分担とともに、権限を明確にし、特に市町村レベルでは、窓口の混乱・たらい回しの状況にならないよう期待します。 ②民間企業の得意分野の活用については、『なぜその企業なのか』といった根拠の見える化が必要と考えます。</p>	— (意見)	総務部 (行政経営管 理課)
4		3	一條 委員		<p>【質問】 (資料1にもありますが)行動指針の中、「・・県民の声を聴き、県民に寄り添って・・」という表現は最近よく見聞きするフレーズだが、行財政の場面で「県民に寄り添う」とは、どのようなイメージか。</p>	書面 回答 P5	総務部 (行政経営管 理課)
<p>【第3 行財政改革の取組方策】 《 I 徹底した業務改革を行い、生産性の向上に挑み続ける青森県》 青森県庁版BPRの実施 関係</p>							
5	資料 1	—	内村 委員		<p>【質問】 時間に制約がある職員対策として、在宅勤務、テレワーク等の働き方も検討対象となるか。</p>	質疑 応答	総務部 (人事課、行政 経営管理課)
6	資料 2	4			<p>【質問】 今回の行革のメイン的な位置付けとなるかと思うが、ボリュームとして何%等の目標は設定するのか。</p>	質疑 応答	総務部 (行政経営管 理課)

行財政改革推進委員会 事前質問・意見等一覧

No	資料	頁	委員名	項目	意見・質問等	回答	担当部局
7	資料 2	6	一條 委員	【第3 行財政改革の取組方策】 《Ⅰ 徹底した業務改革を行い、生産性の向上に挑み続ける青森県》 職員の働き方に関する意識 関係	【質問】 30代の「仕事への満足度」の低さが気になります。 「県民サービスの向上のためには、一層の業務の効率化・合理化が必要」の意見が指摘されていましたが、その他の要素はあったのでしょうか。 また、「自分の頭で考え、動く時間」を増やす取り組みについては、本改革の素案に反映されたのでしょうか。	書面 回答 P6	総務部 (行政経営管理課)
					【質問】 30代の満足度が低く、ニーズへの対応も困難と考える要因として考えられることは何か。	質疑 応答	総務部 (行政経営管理課)
					【意見】 30代以外は、課題と考えていないと想定されます。そういった環境で行動指針の目標にある『改革意識』が効果的に定着されていくとは考え難いため、より具体的な、効果の見える取り組みを期待します。	— (意見)	総務部 (行政経営管理課)
10	資料 2	6	内村 委員	【第3 行財政改革の取組方策】 《Ⅰ 徹底した業務改革を行い、生産性の向上に挑み続ける青森県》 2 内部統制体制の強化 (2) リスクマネジメントの強化 関係	【意見】 とりわけ自然災害については、従来の想定を超える基準、規模での被害が発生する可能性が高まっていると思われる。新たな基準での災害対応マニュアルの検討をお願いしたい。	— (意見)	危機管理局
					【意見】 原発の避難計画作成のために、担当者が福祉施設に訪問調査されました。現実離れた避難計画は非常に建前的であり、費用対効果の面から言っても、とても無駄だと感じました。「～ねばならない」が先行される組織態勢も、改善の余地があると考えます。	— (意見)	危機管理局
12	資料 2	7	内村 委員	【第3 行財政改革の取組方策】 《Ⅱ 地域の多様な主体と連携・協働を進める青森県》 県民との連携・協働 関係	【質問】 県民の意見を県政に反映する具体的な窓口、ツールとしてはどのようなものがあるか。	質疑 応答	企画政策部
					【第3 行財政改革の取組方策】 《Ⅲ 将来にわたり持続可能な行財政基盤を確立する青森県》 県有資産マネジメント 関係	【質問】 県有施設の老朽化対策としては、県庁舎以外主なものとしてどのようなものが今後予定されているか	質疑 応答
14	資料 1	—	一條 委員	【その他】	【意見】 簡潔で読みやすく、理解しやすい内容であった。	— (意見)	総務部 (行政経営管理課)
15	資料 2	—			【意見】 ところどころに、本文を説明するデータや解説が挿入されていて、より理解しやすい。	— (意見)	総務部 (行政経営管理課)